

事例 18 地域の植樹活動への国有林野の提供

(東北森林管理局 宮城北部森林管理署)



- 宮城県 黒川（くろかわ）郡
大和町（たいわちょう）
三峯山（みつみねやま）国有林
- 分収林契約を結ぶ「こ～ぶの森」での
植樹の様子

東北森林管理局宮城北部森林管理署では、みやぎ生活協同組合が行う「こ～ぶの森」の活動に対して、分収林契約に基づき国有林野を提供し、地域参加の森林づくり活動を推進しています。

令和元年度は、契約地において、協同組合の組合員と職員、地元森林組合が参加し、森林組合の指導の下で植樹活動を行い、ホオノキやイタヤカエデなどの広葉樹 200 本が植栽されました。

植樹後には、付近の国有林野内に整備された^{ますざわ}升沢遊歩道において自然観察会も行われ、参加者は美しいブナ林の中で森林浴を楽しみました。

こうした活動を通じて、地域の人が森林づくりに参加することで、身近な自然や森林に、より親しみを持てるようになることが期待されます。

今後も、地域や企業の要望も聞きながら、分収林制度等を活用して多くの人が森林や自然を楽しみ、学ぶことができるよう、フィールドの提供等に取り組んでいくこととしています。